

姫路科学館友の会 **あとむ**

姫路科学館友の会会報 第 187 号〈2023 年 10 月〉(友の会事務局発行)

● 今年の冬至は 12 月 22 日

一年の中で、夜が最も長くなる日です。「一陽来復」、"陰"も極まると、一転"陽"になると考えられており、この日を境に日照時間が延びていきます。冬至の風習として、南瓜や小豆粥を食す、柚子湯に浸かるなどがあります。他にも運を呼び込むとして、「ン」がつくものを食べると良いとも。

(友の会会長 上田倫範)

❁ 花の歳時記 「ビワ」(バラ科)

本州の関東地方・東海地方の沿岸、石川県以西の日本海側、四国、九州北部に分布する中国原産の常緑高木です。

11月～12月に、甘い芳香がある白い5弁の花を群がって咲かせます。そして、翌年の5月～6月にかけて黄橙色に果実が熟します。果実の中には大きな赤褐色の種子が数個あり、可食できる甘い果肉部分は全体の3割ほどです。果実の形が楽器の琵琶に似ているところからこの名がついています。また、ビワの芳香のある花の様を、斎藤茂吉は次のような歌に詠んでいます。「ビワの花 冬木のさなかに におえるを この世のものど 今こそは見め」



(友の会理事 古角孝之)

❁ 館長の科学館だより 姫路科学館近況 令和5年11月

今年の観月会は仲秋の名月と満月が重なり、大きな月が浮かび上がりました。科学館も4台の望遠鏡を携え、三の丸広場で更にくっきりとした月を多くの人に堪能してもらいました。

10月に入り駐車場横の上池に接した歩道の桁下で、バスケットボールよりも大きなキイロスズメバチの巣が見つかり、当館職員が殺虫剤をかけて駆除しました。来館者に危害を及ぼすこと無く安堵しました。そして現在、10月28日(土)～11月19日(日)の間、1階展示室で『第59回姫路市児童生徒科学作品展』(調査研究の部)を開催していますので、力作をご覧ください。尚、年末年始の休館日は12月26日(火)～1月3日(水)ですので、宜しくお願いいたします。

(友の会常任理事 姫路科学館館長 中川吉郎)



ヤマガラ通信 11

姫路科学館周辺の野鳥を紹介します

🐦 「ヤマガラの子育て」⑪

こどもを教育

親の姿は見ますが若鳥(ヒナ)の姿は見かけません。心配です。外敵に襲われたのかもしれませんが。5月10日に奥村さんが虫をくわえた若鳥を発見。13日には若鳥3羽を確認。どうやら無事にいる